資料７

デジタル人材育成政策の現状と今後

2026年3月3日

独立行政法人情報処理推進機構

IPA Better Life with IT

目次

０．IPAのデジタル人材育成事業

１．情報処理技術者試験

２．データマネジメント人材の育成

３．国立高専との連携

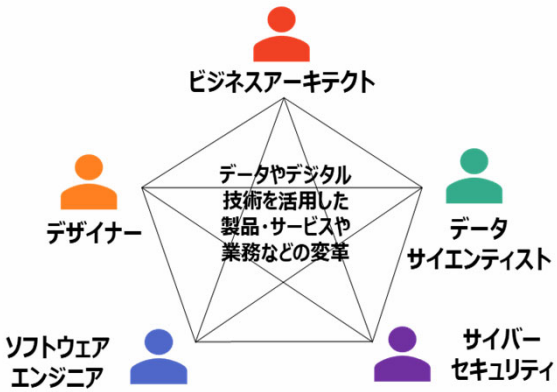
４．デジタル人材スキルプラットフォーム

©2026独立行政法人情報処理推進機構（IPA）

0．IPAのデジタル人材育成事業

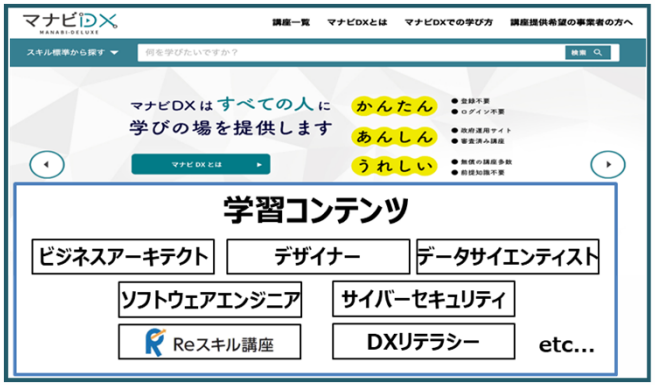
デジタル人材の育成を目的として、**デジタルスキル標準**、学習コンテンツを提供するポータルサイト**「マナビDX（デラックス）」**の運営、ITパスポート試験をはじめとする**情報処理技術者試験**（国家試験）を実施

デジタルスキル明確化



- デジタルスキル標準DSS（2022.12）
- 生成AI対応改訂①（2023.８）
- 生成AI対応改訂②（2024.7）

学習コンテンツ・実践的教育



- デジタル知識・スキルが身につく学びの場「マナビDX」
- デジタル人材スキルプラットフォーム

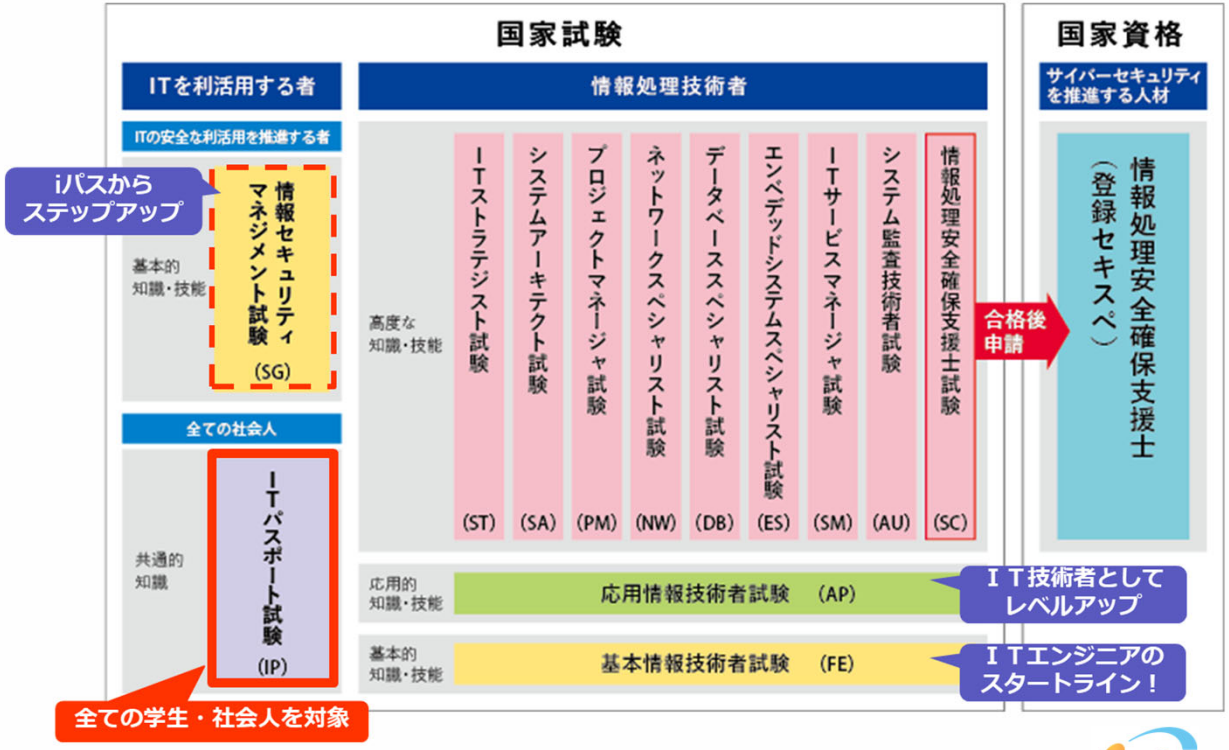
国家試験

- 情報処理技術者試験
- 情報処理安全確保支援士（試験・資格）
- DX推進パスポート（デジタル推進協議会）

©2026独立行政法人情報処理推進機構（IPA）

1．情報処理技術者試験①
～年間約74万人が応募する国家試験～

経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している**国家試験**



【令和6年度 情報処理技術者試験 応募者数】

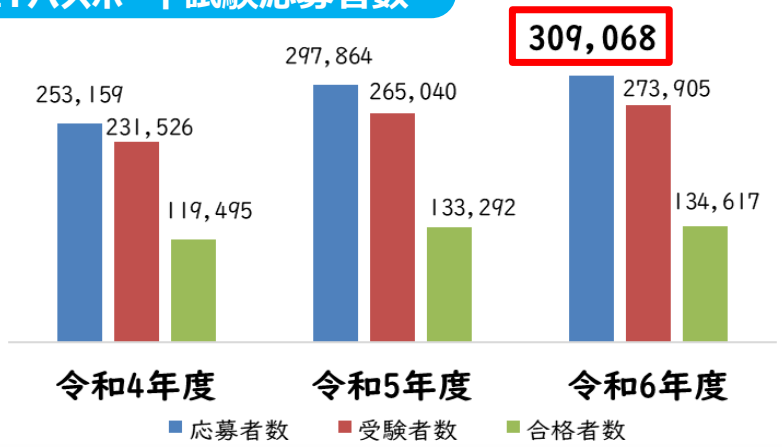
試験区分	応募者数
ITパスポート試験	309,068
情報セキュリティマネジメント試験	45,481
基本情報技術者試験	157,259
応用情報技術者試験	121,236
ITストラテジスト試験	7,486
システムアーキテクト試験	5,696
プロジェクトマネージャ試験	13,481
ネットワークスペシャリスト試験	16,085
データベーススペシャリスト試験	14,549
エンベデッドシステムスペシャリスト試験	1,949
ITサービスマネージャ試験	2,879
システム監査技術者試験	3,118
情報処理安全確保支援士試験	43,597
合計	**741,884**

ITを利活用するすべての社会人・これから社会人となる学生が備えておくべき、ITに関する基礎的な知識が証明できる国家試験

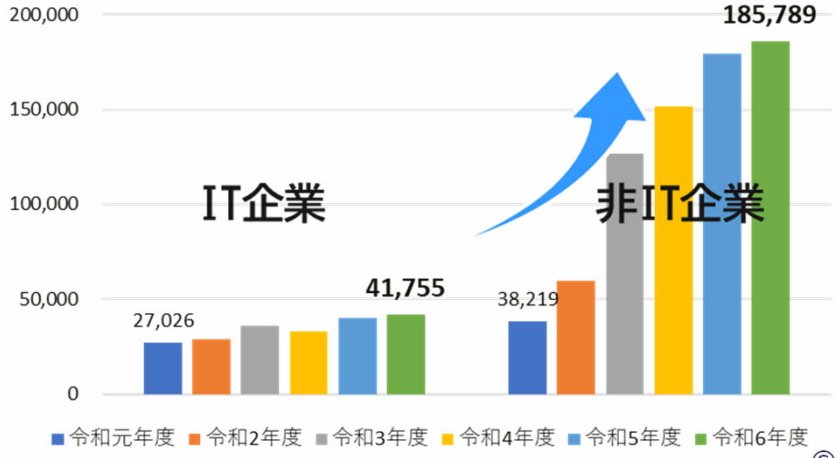
©2026独立行政法人情報処理推進機構（IPA）

1．情報処理技術者試験②
～ITパスポート試験は、初の30万人突破～

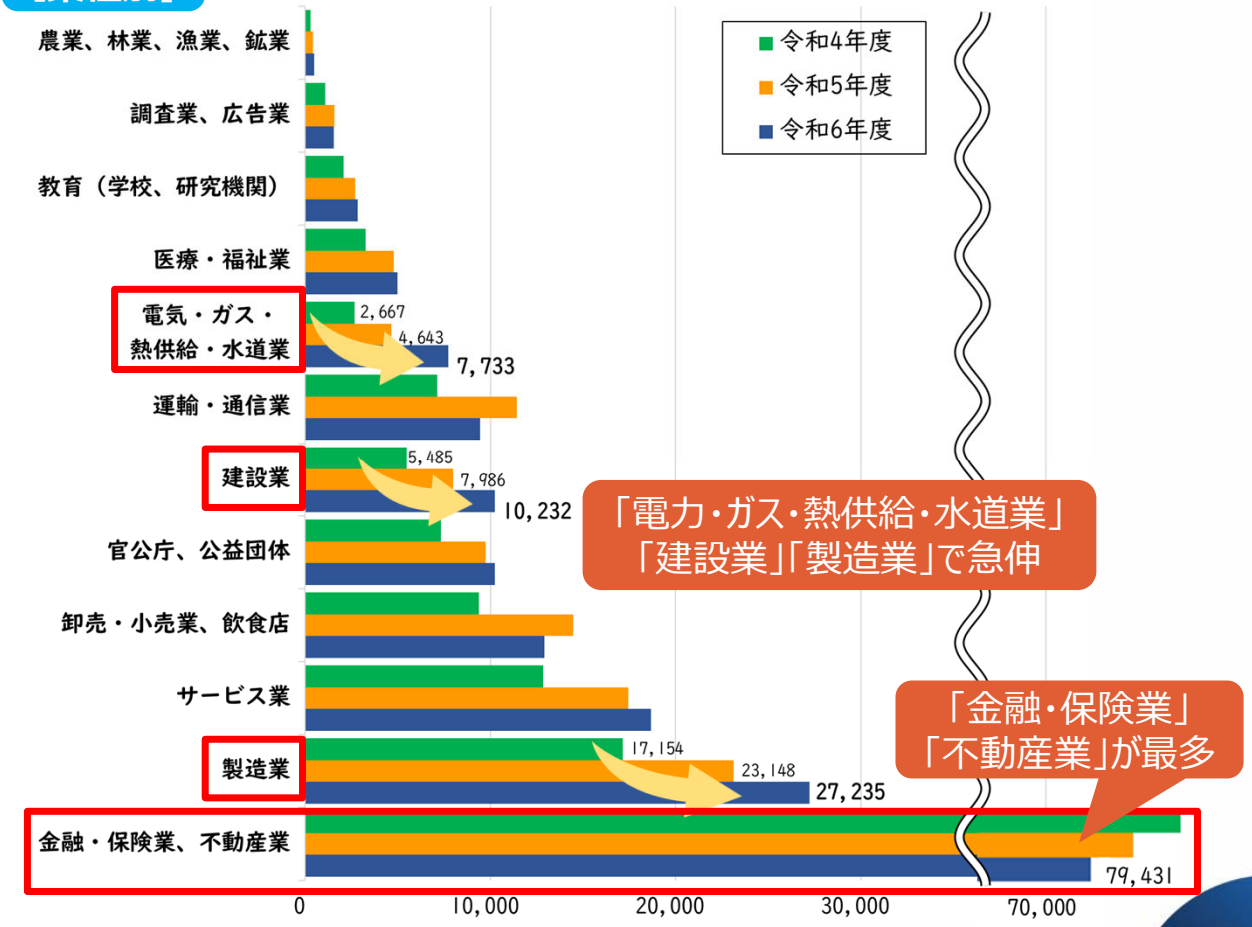
ITパスポート試験応募者数



【企業別（IT系／非IT系）】

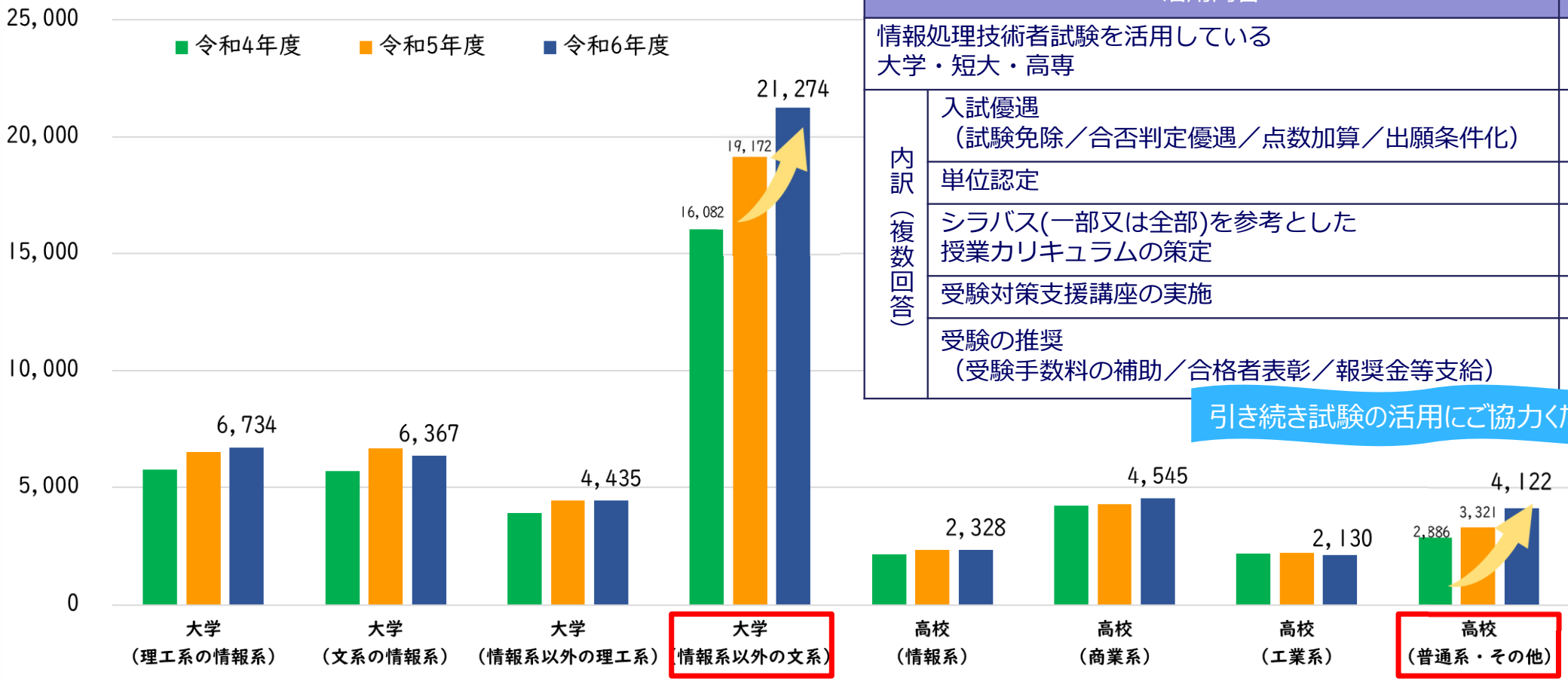


【業種別】



©2026独立行政法人情報処理推進機構（IPA）

1．情報処理技術者試験③
～iパスは、大学（情報系以外の文系）と高校（普通系）で応募者増～



【大学等における活用状況（2024年11月調査）】

活用内容		
情報処理技術者試験を活用している大学・短大・高専		240校
内訳（複数回答）	入試優遇（試験免除／合否判定優遇／点数加算／出願条件化）	132校
	単位認定	95校
	シラバス(一部又は全部)を参考とした授業カリキュラムの策定	96校
	受験対策支援講座の実施	126校
	受験の推奨（受験手数料の補助／合格者表彰／報奨金等支給）	113校

引き続き試験の活用にご協力ください！

1．情報処理技術者試験④
～ITパスポート試験の大学会場での集団受験を積極支援中～

【第４回デジタル人材育成推進協議会資料（2024年10月21日開催）※再掲】

- 金沢工業大学では、ITパスポートの受験促進のため、**大学をITパスポートのCBT試験会場として整備中**。2025年中の試験実施を予定。
- **同大学の学生のほか、一般受験者も受入。**

経緯・課題

【大学側】

・多くの（自学の）学生にITパスポート試験を受験してもらう環境を整えるため、金沢工業大学を試験会場として設置することを希望。

【IPA側】

・地域の需要に沿った地方会場の確保に苦慮。

実施体制

大学
- 会場、設備（PC等）提供

受託事業者 IPA
- 当日の試験運営
- 監督員の手配
- コールセンターでの問い合わせ対応

【2025年度の実績】

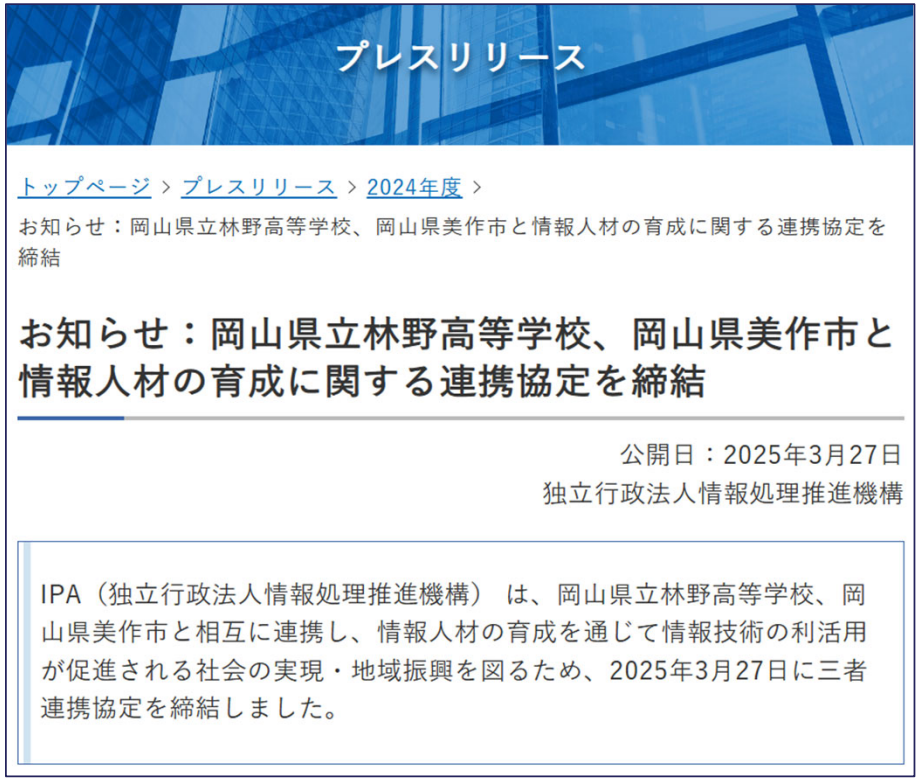
- **2025年5月**からスタート
- 2026年3月末までの応募者数 **139名**（受験予定者含む）
  ※2026/2/9時点
- 今後、**FE（基本情報技術者試験）も実施予定**

学生・大学側の利便性や認知の向上のため、今後も継続的にIPAとしてサポート

大学からのご要望に応じて積極的に支援！

©2026独立行政法人情報処理推進機構（IPA）

1．情報処理技術者試験⑤
～自治体・高校との連携を通じて、試験教材の積極活用を応援～


プレスリリース

トップページ > プレスリリース > 2024年度 >

お知らせ：岡山県立林野高等学校、岡山県美作市と情報人材の育成に関する連携協定を締結

お知らせ：岡山県立林野高等学校、岡山県美作市と情報人材の育成に関する連携協定を締結

公開日：2025年3月27日
独立行政法人情報処理推進機構

IPA（独立行政法人情報処理推進機構） は、岡山県立林野高等学校、岡山県美作市と相互に連携し、情報人材の育成を通じて情報技術の利活用が促進される社会の実現・地域振興を図るため、2025年3月27日に三者連携協定を締結しました。

出典：IPAホームページ
https://www.ipa.go.jp/pressrelease/2024/press20250327.html

出典：岡山県ホームページ
https://www.pref.okayama.jp/site/255/968390.html

©2026独立行政法人情報処理推進機構（IPA）

1．情報処理技術者試験⑤（つづき）
～岡山県立林野高等学校においてITパスポート講座開設～

【2025年度における岡山県立林野高等学校との連携事業】

- **<u>総合的な学習の時間におけるITパスポート講座</u>　（IPAからは講師を紹介）**
  - ITパスポート講座（YouTube講座）：2025年7月～2026年2月に実施
    - ・1年生10名（放課後週１回勉強会）、2年生3名（9月から授業内個人探究で週に１回か２回）、3年生取得希望数名、個人学習
  - 講師への質問講座
    - ・全3回（第1回目：10/17（金）第2回目：12/16（火）第3回目：2/17（火））
  - ITパスポート試験受験（2026年3月）

- **<u>全校生徒向け： ITリテラシー出前授業</u>　（IPA講師）**

  高校生が授業でもプライベートでも使うスマホ・タブレット・PCやインターネットのすばらしさと注意点について、一般の利用者から数々の相談を受け付けている講師から解説。
  - ITリテラシー講座を年数回開催
    - ・第1回出前授業：5/13（オンライン開催）、 第2回出前授業：10/21（対面開催）

©2026独立行政法人情報処理推進機構（IPA）

1．情報処理技術者試験⑥
～2027年度より試験改革を順次実施し、現代・将来ニーズに対応～

ITパスポート試験（iパス）を含む情報処理技術者試験の見直し背景

- **データ活用やデジタル技術の進化（生成AI技術の急速な進展等）**、グローバル化による産業構造の変化が起きている中、企業規模や業種・業界にかかわらず、全ての企業が、**データとデジタル技術を活用した経営変革の取組であるＤＸの推進が必要**。
- 他方、データ活用やデジタル技術は日々進化しており、これによってもたらされる**スキルの変化に対しては、絶え間なくアップデートしていくことが必要**。

経産省・IPA「デジタルリテラシーの育成に関するタスクフォース」での議論　※一部抜粋

- AIを利活用していく上での、最低限の知識の必要性
- デジタル技術の活用における倫理の重要性
- 全ての社会人（全社員）が変革の受容性を持つことの必要性

iパスの改定の方向性

- ✓ **追加：データマネジメントの基礎に関する出題**
- ✓ **強化：データ及びAIの利活用に関する出題**
- ✓ **強化：AI時代に対応した倫理の出題**
- ✓ **追加：DXのマインド・スタンスの出題追加**

など

2027年度　開始予定

©2026独立行政法人情報処理推進機構（IPA）

2．データマネジメント人材の育成
～AI-Readyを人材育成面からも推進～

IPA

データマネジメント人材育成に至る背景

- DX推進やAI活用を進めるためには、**企業の意思決定を迅速果断に行うための様々なデータを管理・活用**することが求められている。
- 産官学の連携で着実に育ってきたデータサイエンティストの業務の多くがデータの前処理に費やされていると指摘されることも多く、データサイエンティストが本来持つスペシャリティを発揮するためにも、**データを活用可能な状態に整備・管理する必要**がある。
- また、データが市場で流通・取引され、新たな価値を社会にもたらす枠組みが政府主導で進められている中で、企業におけるデータ品質の確保は、その前提条件である。

経産省・IPA「データマネジメント人材の育成に関するタスクフォース」での議論　※一部抜粋

- データマネジメント類型の**ロール、スキル項目**の整理
- **データマネジメントの新試験**をはじめとする各試験における出題範囲等の方向性整理
- ITベンダーだけでなく**ユーザー企業のビジネスパーソン**に広くデータマネジメントの素養の習得を促す必要性
- **データマネジメントの認知度向上、育成促進**等のためのプロモーションの必要性

データマネジメント人材育成に係る方向性

- ✓ **DSSにおけるデータマネジメント類型の追加**
- ✓ **データマネジメントに関する新試験の創設**
- ✓ **データマネジメントのコースウェア開発**

IPAにおけるアセットを活用

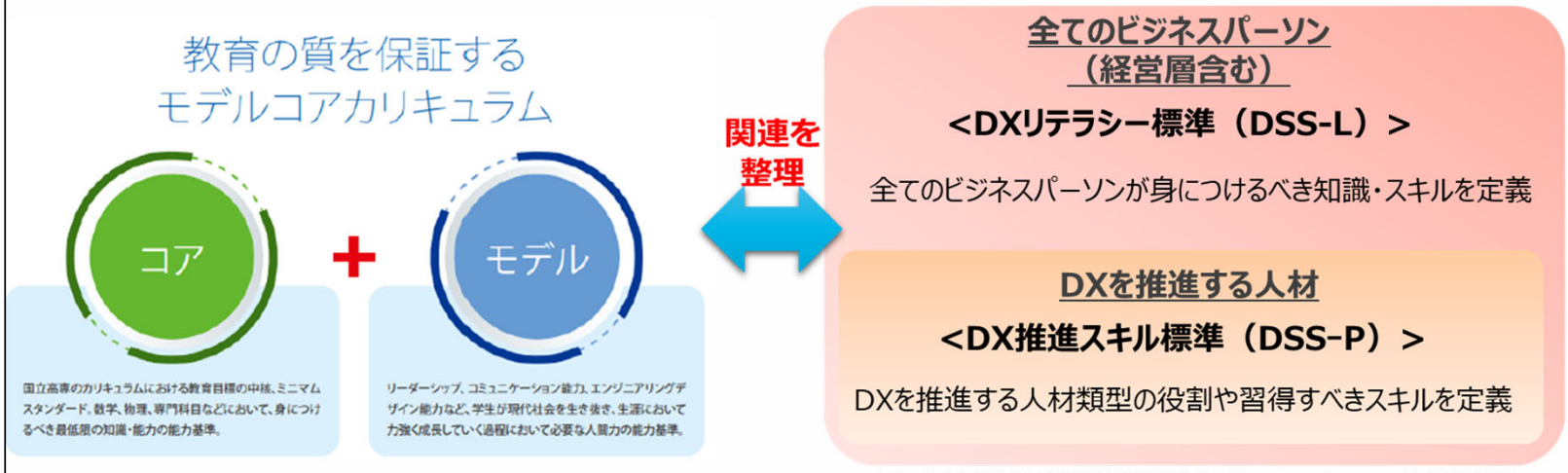
- **データスペースアカデミー(2025)**
- **データ品質マネジメントガイドブック(2025)**

©2026独立行政法人情報処理推進機構（IPA）

3．国立高専との連携
～モデルコアカリキュラムとデジタルスキル標準の接続に向けて～

【第４回デジタル人材育成推進協議会資料（2024年10月21日開催）※再掲】

- 国立高専は、すべての学生に到達させることを目標とする一般教養と専門分野の最低限の能力水準・修得内容である「コア」と人間力（社会人基礎力）の「モデル」からなる「モデルコアカリキュラム（MCC）」とする到達目標群を設定して、さらに各高専は地域性に応じた独自のカリキュラムを設定して学生育成を行っている。
- 今後、**高専のモデルコアカリキュラム（MCC）とデジタルスキル標準（DSS）の関連を共同で整理し**、高専から産業界へのスキルの接続を明確化することで、学から産へ、**産業界で活躍できるデジタル人材の供給を目指す。**



出典：独立行政法人国立高等専門学校機構「モデルコアカリキュラムに基づく高専教育」

【2025年度の実績】

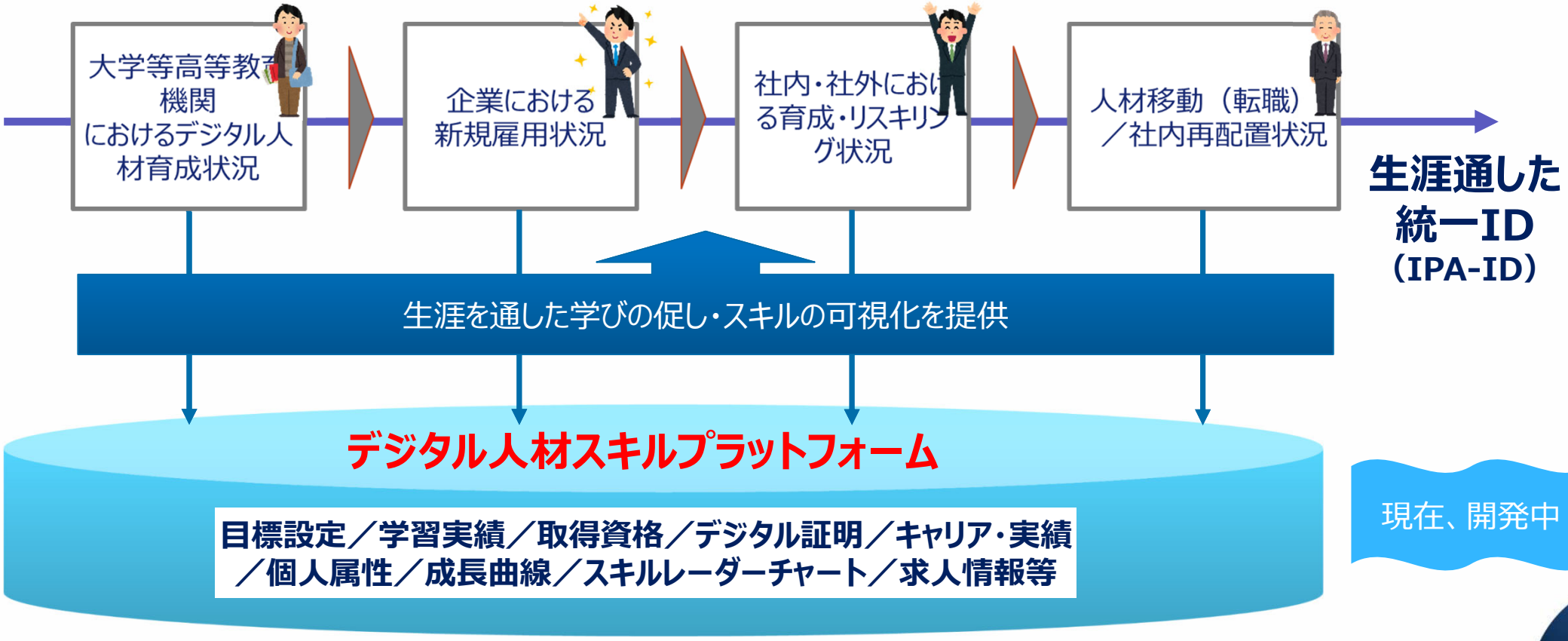
DSSとの整合性がとれたMCCの設計を実施

産業界で活躍できるデジタル人材の輩出へ

©2026独立行政法人情報処理推進機構（IPA）

４．デジタル人材スキルプラットフォーム
～IPAの人材育成政策を統合し、デジタル人材育成の国家基盤を確立～

- 人生のさまざまなステージにおいて学習や資格取得などの履歴を保存、スキルを可視化
- 一元的に蓄積されたデータからスキルトレンドを分析し、個人に適した学びを促進する情報を提供



現在、開発中